

No.	010	—	3001	事務事業名	蓄犬管理事務				細事務事業名	蓄犬管理事務				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	--------	--	--	--	--------	--------	--	--	--	------	---

PLAN

課名	市民環境課		係名	環境対策係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp					
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	一部委託		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし		
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	1 環境施策の総合的推進				主要施策	(1)「環境先進地・東温」づくりの総合的推進				
事業の対象	東温市民で犬・猫を飼っている方						根拠法令	狂犬病予防法							
事業の目的	最終的	犬を飼っている全ての東温市民に犬の登録、狂犬病予防注射の接種を推進し、狂犬病の発生・蔓延を防ぐこと。人の生命、身体、財産を侵害することのないよう、犬・猫の正しい飼育・管理の啓発・推進を行います。					今年度	狂犬病予防集合注射の実施(5月)、動物遺棄・虐待防止及び防犯を目的とした自主防犯パトロール、狂犬病予防法に基づく野犬捕獲、狂犬病予防注射率の向上、正しい犬猫の飼い方の周知啓発活動を行います。							
活動内容	①	狂犬病予防集合注射の実施(5月に東温市内の各地区をまわり、注射をします。)					④	犬・猫の苦情対応(苦情受付後に現地確認し、指導、所有者に対して文書でお知らせ)							
	②	狂犬病予防注射接種率向上のための周知・啓発活動(未接種犬所有者への通知)					⑤	所有者・拾得者からの犬猫の引取り							
	③	野犬捕獲業務及び死骸回収業務													
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標			
	狂犬病予防注射接種率			(集合注射頭数+個別注射頭数)/登録実頭数×100			%	目標	70	75	75				
								実績	70	72					
	不妊去勢手術補助件数			制度の普及促進のために手術実施頭数を指標としました			頭	目標	150	150	100				
								実績	81	69					
								目標							
実績															

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費	
直接事業費		平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考				
	国・県支出金	25 千円		9 千円		1 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	1,553 千円		1,589 千円		1,444 千円						
	一般財源	1,735 千円		1,084 千円		1,457 千円						
	計(A)	3,313 千円		2,682 千円		2,902 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.600 人	3,629 千円	0.600 人	3,656 千円	0.600 人	3,608 千円					
	臨時職員工数・経費	0.500 人	937 千円	0.500 人	942 千円	0.500 人	972 千円					
全体事業費(A+B)		7,879 千円		7,280 千円		7,481 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	統合/終期設定
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	現在、狂犬病は発生しておりませんが、蔓延防止には狂犬病注射率70パーセント以上の確保が必要だと言われています。集合注射の利用推進、広報啓発活動を行い、更なる注射率向上を図る必要があります。												
有効性	平成20年10月より犬猫引取りが有料化となり、捨犬・捨猫の増加が懸念されましたが、現在そのような傾向はありません。しかし、野犬等の苦情は継続してあるため、保健所の協力の元、捕獲器等による野犬捕獲、また動物遺棄防止のための施策に努める必要があります。												
達成度	東温市の狂犬病注射率は県内では高い水準にありますが、全国と比較すると依然として低いため、集合注射の利用推進、広報啓発活動による注射率向上を図る必要があります。												
効率性	現在、近隣市町において、民間実施の狂犬病集合注射が行われてきています。割安なため、東温市内で実施されるようになれば、市と民間実施の集合注射の二極化が予想され、人員・手段等の改善の余地が出てきます。												
当面の課題	注射に関しては実施率の向上。野犬に関しては捕獲による頭数減少。また、餌やりによる野良猫の増加が懸念されており、捕獲自体も猫の場合には出来ないため、広報・チラシでの啓発、パトロール実施・不妊去勢手術の周知等によって野良猫の頭数減少に努める必要があります。												
改計画	注射実施率向上に関してはポスター、広報、ホームページ、回覧等による周知活動を行います。また、狂犬病予防注射を未接種の犬がいる世帯には再通知を行います。野犬に関しては保健所との協力により捕獲、パトロール、看板等による呼びかけを実施します。また、犬・猫の不妊去勢手術補助事業の周知により、犬・猫の繁殖防止を企図します。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	安易なペットの遺棄により野犬等の対策は年々困難な状況となっています。また、野犬の苦情件数が増加する傾向にあることから、県の保健所及び地域の代表者との協働体制の連携強化を図り、捕獲の向上と遺棄防止に向けた取り組みを継続してください。												

No.	010	—	3002	事務事業名	環境検査・測定その他事業			細事務事業名					公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	--------------	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

PLAN

課名	市民環境課		係名	環境対策係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp				
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし	
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	1 環境施策の総合的推進				主要施策	(4) 公害等環境問題への対応			
事業の対象	東温市内の河川等、牛舎周辺地域、基幹道路周辺地域、六価クロム発生地域						根拠法令							
事業の目的	最終的	環境負荷の発生や汚染等状況を早期に把握し、地域環境の保全を図ります。					今年度	河川の水質調査、牛舎周辺の悪臭の測定、基幹道路周辺の騒音測定、六価クロム発生地域の観測井戸のモニタリング調査等を継続的に実施し、現況を把握することにより環境保全を図ります。また、個別の公害等の事案について、現地を調査し対策を行います。						
活動内容	①	市内32箇所の河川の水質検査の実施					④	六価クロム発生地域7箇所の観測井戸のモニタリング調査						
	②	牛舎周辺地域の悪臭測定					⑤	個別の公害苦情事案の対応						
	③	基幹道路周辺3箇所の騒音測定及び騒音状況の把握												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標		
	河川の水質検査場所		水質の経年変化の把握				箇所	目標	32	32	32	→		
								実績	32	32				
	騒音の測定場所		基幹道路周辺の騒音状況の把握				箇所	目標	3	3	2	→		
								実績	3	3				
	六価クロム観測井戸		モニタリング調査による現状の把握				箇所	目標	7	7	7	→		
実績								7	7					

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費	
直接事業費		平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考				
	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	一般財源	2,368 千円		2,960 千円		3,140 千円						
	計(A)	2,368 千円		2,960 千円		3,140 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	3,025 千円	0.500 人	3,047 千円	0.500 人	3,007 千円					
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		5,393 千円		6,007 千円		6,147 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	環境保全を図るため各種検査及び測定・調査を実施して、環境負荷の発生状況を早期に把握し、対処していく必要があります。												
有効性	環境負荷を早期に把握し、対応できます。												
達成度	計画的・継続的に各項目の検査・測定を実施しており、目標を達成しています。												
効率性	経年の状況を把握し、公害等の拡大を未然に防ぐことができます。												
当面の課題	環境検査及び測定については今後も継続して実施し、問題がある事案については早期に対処していく必要があります。												
改計画	今後も計画的・継続的に検査及び測定を実施します。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項		計画的な検査・測定を実施し、適切な環境保全の維持に努めてください。											

No	010	—	3007	事務事業名	清掃総務事業				細事務事業名					公的関与	1
----	-----	---	------	-------	--------	--	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

PLAN

課 名	市民環境課		係 名	環境対策係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp				
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし	
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	5 ごみ処理等環境衛生対策の充実		主要施策	(1) ごみ収集・運搬体制の充実					
事業の対象	東温市民、市内全事業所、各種ボランティアグループ、市内全域各区、各組						根拠法令	廃棄物処理法、リサイクル関係法令等						
事業の目的	最終的	一般廃棄物の発生抑制、リサイクル率の向上、市内から排出された一般廃棄物の適正処理など、循環型社会形成構築に向けた円滑な事業推進を図ります。				今年度	市指定ごみ袋によるごみの減量化の推進、リサイクル率の向上など適正なごみ処理及びごみ減量化の推進を図ります。							
活動内容	①	市指定ごみ袋、ごみカレンダーの作成、各区配布作業及び組外世帯者への配布事務				④	廃棄物検討委員会で今後のごみ処理の方向性を検討							
	②	出前講座による市民へのごみ分別周知徹底及び廃棄物処理法に基づく違法行為の処理業務				⑤	一般廃棄物処理実施計画の策定							
	③	廃棄物処理法、リサイクル関係法令及び県条令等に基づく各種事務処理												
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標		
				事業の性質上、指標設定ができない。				目標						
								実績						
								目標						
								実績						
								目標						
							実績							

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費	
直接事業費		平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備 考				
	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	6,849 千円		7,788 千円		8,068 千円						
	一般財源	0 千円		211 千円		2,919 千円						
	計(A)	6,849 千円		7,999 千円		10,987 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	1.800 人	10,888 千円	1.800 人	10,969 千円	1.800 人	10,823 千円					
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		17,737 千円		18,968 千円		21,810 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評 価 項 目 の 説 明 （一次評価者のコメント）												
必要性	一般廃棄物の適正な処理は、法律に定められた市の重要な業務です。今後も継続して行う必要があります。												
有効性	ごみの分別を行うことにより、リサイクルの推進や最終処分量の削減を図っており、資源の有効活用を行います。また、ごみ袋に記名することにより、責任あるごみの排出、分別の徹底及び地区集積場の適正管理が図られます。												
達成度	分別等の周知を図ることにより、リサイクルを含めた適切な処理を行っています。また、ごみの再資源化が図られます。												
効率性	現状に応じた効率的・経済的な収集方法へ変更を行うことで、有効な収集形態が確保できます。												
当面の課題	集積場の集積化や住民ニーズへの対応、集積場への不法投棄などさらに効率的な収集形態や適正な集積場の運営方法などの検討が必要です。												
改革計画	現在、2地区体制の収集形態を見直しや収集形態を統一、収集頻度の見直し等を、諮問機関である「廃棄物処理検討委員会」において検討を行います。												
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項		市民生活に密着した非常に重要な業務であり、更なるごみ収集体制の充実を図ることが必要です。											

No	010	—	3019	事務事業名	不法投棄・環境パトロール事業			細事務事業名					公的関与	1
----	-----	---	------	-------	----------------	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

P L A N	課 名	市民環境課		係 名	環境対策係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	ソフト事業			事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	5 ごみ処理等環境衛生対策の充実		主要施策	(4) ごみの不法投棄対策の推進				
	事業の対象	市内に不法に投棄された廃棄物						根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 他					
	事業の目的	最終的	不法投棄行為者への指導による不法投棄の根絶を図り、環境保全に努めます。					今年度	不法投棄の回収により不法投棄者を特定・指導をすることで不法投棄物の減少を図ります。					
	活動内容	①	市内を不法投棄パトロールを行うことで不法投棄を早期発見します。					④	ボランティア清掃で回収された廃棄物を処理することで活動を支援し、更なる不法投棄に削減に努めます。					
		②	早期回収をすることで更なる不法投棄を未然に防止します。					⑤	地区住民による公害監視や不法投棄パトロールを行うことで環境保全を図ります。					
		③	不法投棄行為者を特定し指導をすることで不法投棄減少を図ります。											
	成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標	
		不法投棄回収量			年度ごとの回収量を比較して事業の効果を測るため			k g	目標					
実績									11,500	12,690				
							目標							
							実績							
							目標							
							実績							

D O	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費	
	直接事業費		平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備 考				
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		787 千円		787 千円						
		一般財源	4,494 千円		3,583 千円		4,195 千円						
		計(A)	4,494 千円		4,370 千円		4,982 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	605 千円	0.100 人	609 千円	0.100 人	601 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A + B)		5,099 千円		4,979 千円		5,583 千円						

C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評 価 項 目 の 説 明 （一次評価者のコメント）												
	必要性	不法投棄されている現状を把握し、巡回パトロール及び不法投棄物の回収を行うことにより、不法投棄未然防止を図っています。												
	有効性	継続的に巡回パトロールを行いことで、環境保全を維持し、不法投棄未然防止を図ります。												
	達成度	年により若干増減はあるものの、不法投棄物の収量が減少している傾向にあり、事業効果があったと考えます。												
	効率性	入札により委託料の抑制を図っており適正と考えます。												
	当面の課題	本来管理者が処分すべきものまで回収をしているため、法の主旨に従い各管理者が適正に処分するよう指導する必要があります。また、家庭ごみの不法投棄をなくすよう啓発が必要です。												
	改 革 画	児童を対象とした環境教育の実施や不法投棄撲滅啓発看板の設置、また、管理者が適正管理するよう指導又は要請をします。												
	二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	二次評価での指摘事項		適切な処理体制の確保と排出者の意識の高揚が不可欠です。不法投棄防止の啓発活動の展開や監視体制の強化のほか、警察等関係機関との連携を強化し対応を進めてください。また、平成29年度開催の愛媛国体に向けた環境美化の取り組みについて拡大・充実を図っていく必要があります。											

No.	010	—	3020	事務事業名	ごみ収集事業				細事務事業名					公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	--------	--	--	--	--------	--	--	--	--	------	---

PLAN

課名	市民環境課		係名	環境対策係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp					
事業区分	ソフト事業			事業運営方法				実施計画	該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし	
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	5 ごみ処理等環境衛生対策の充実			主要施策	(1)ごみ収集・運搬体制の充実					
事業の対象	東温市民							根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
事業の目的	最終的	廃棄物の排出抑制及び再生利用を図り、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努めます。					今年度	燃やすごみの排出抑制及び分別の徹底を図ります。							
活動内容	①	家庭から排出される廃棄物の収数を行います。					④	分別排出について広報、啓発、指導を行います。							
	②	収集した廃棄物を適正な方法で処分します。					⑤								
	③	燃やすごみの減量に関して意識啓発を図ります。													
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標			
	リサイクル率			資源化量/処理量×100			%		目標	29	29	29	29		
								実績	18	18					
	1人1日当たりの燃やすごみ排出量			本市一般廃棄物処理基本計画において設定しております。			g		目標	406	406	406	406		
								実績	418	412					
									目標						
実績															

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費		
直接事業費		平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考					
	国・県支出金	0千円		0千円		0千円							
	地方債	0千円		0千円		0千円							
	その他特定財源	14,059千円		6,649千円		5,542千円							
	一般財源	180,675千円		200,126千円		214,188千円							
	計(A)	194,734千円		206,775千円		219,730千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.300人	1,815千円	0.300人	1,828千円	0.300人	1,804千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		196,549千円		208,603千円		221,534千円							

CHECK・ACTION

一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
必要性	家庭から排出されるごみの収集基準について、基準が明確に示されていない項目について、わかりやすい表現に改めた手引きを作成し広報する必要があります。													
有効性	現在の分別形態において、資源ごみのリサイクルが確実に行われております。また、家庭から排出される燃やすごみについても、減量が進んでいます。													
達成度	燃やすごみの排出量は減量傾向にありますが、リサイクル率は横ばい状態です。原因としては、民間業者における無料資源ごみ回収が広がり、行政回収量が減少していることが挙げられます。													
効率性	家庭ごみの収集から運搬、処分、再資源化の流れをほぼ民間に委託し、スムーズに廃棄物処理が行われています。													
当面の課題	資源ごみのリサイクル率 ごみの出し方に関する広報活動													
改訂計画	資源ごみのリサイクル率が目標達成に近づかない現状を少しでも改善するため、食品ごみの減量やプラスチック類の分別徹底、小型家電リサイクル法の周知に取組む必要があります。 ごみの出し方の周知を行うため、出前講座やホームページ、広報誌等を通してわかりやすい説明を行います。													
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項		リサイクル率の向上に向けて、更なる取組みを進めてください。												

No.	010	—	3022	事務事業名	清掃施設事業				細事務事業名	清掃施設管理運営事業				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	--------	--	--	--	--------	------------	--	--	--	------	---

PLAN

課名	市民環境課		係名	環境対策係		電話番号	089-964-4415		メールアドレス	shiminkankyo@city.toon.ehime.jp					
事業区分	施設の維持管理			事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし		
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	5 ごみ処理等環境衛生対策の充実			主要施策	(2)ごみ処理体制の充実					
事業の対象	東温市民及び市内事業所の一部						根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 他							
事業の目的	最終的	分別して排出された廃棄物を適正に処理します。					今年度	安全かつ適正に処理を行います。							
活動内容	①	クリーンセンターの管理運営					④								
	②	リサイクルセンターの管理運営					⑤								
	③														
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標			
	事故発生件数			施設での事故件数			件		目標	0	0	0	0		
									実績	0	0				
									目標						
									実績						
									目標						
								実績							

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費		
直接事業費		平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考					
	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円							
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
	その他特定財源	6,111 千円		5,140 千円		6,922 千円							
	一般財源	62,768 千円		61,014 千円		63,775 千円							
	計(A)	68,879 千円		66,154 千円		70,697 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	2.200 人	13,308 千円	2.200 人	13,407 千円	2.200 人	13,229 千円						
	臨時職員工数・経費	7.000 人	13,118 千円	7.000 人	13,181 千円	7.000 人	13,601 千円						
全体事業費(A+B)		95,305 千円		92,742 千円		97,527 千円							

CHECK・ACTION

一次評価者	環境対策係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
必要性	法律に基づき一般廃棄物処理を適正に行うため、実施する必要があります。													
有効性	現状では事故なく安全に管理できていますが、施設の老朽化が一部で目立つので、改修が必要です。													
達成度	安全運転管理や日常点検を徹底し、事故の発生を防いでいます。													
効率性	保守点検を行うことにより、改修箇所の年次計画を立てて、効率的な維持管理を行っています。 また、計画的な補修工事を行うことで故障箇所の拡大や未然防止を図ることができます。													
当面の課題	施設の老朽化に伴い、突発的な修繕や継続的な補修維持管理費用が必要となります。													
改計画	計画的な点検、維持管理及び補修工事により長寿命化を図ります。													
二次評価者	市民環境課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項		点検・維持管理の徹底と計画的な補修工事により施設の長寿命化を図るとともに、広域化・民間委託等の将来の方向を見据えた検討を進めていく必要があります。												